

令和 6 年 度 事業 報 告 書

江別市社会福祉協議会（以下「当協議会」）では、令和 2 年度に策定した第 4 期地域福祉実践計画（以下「計画」）に基づき、「暮らしの安心を支える地域福祉」を目指した事業運営をしてまいりました。

計画の最終年度である令和 6 年度は、各種事業の進捗確認と評価をしつつ、多様化する相談への対応や、事業の円滑な推進に努めました。

特に、生活困窮者自立支援事業では、関係機関の協力を得ながら、ひきこもり当事者とその家族が気兼ねなく参加できる居場所づくり事業の開催、生活福祉資金貸付事業では、新型コロナウイルス特例貸付を利用した方々からの相談対応、生活支援体制整備事業では、「高齢者の移動手段の確保、運転免許返納後の生活への不安」といった地域の支援ニーズを把握し、各事業において地域課題への支援を継続して行いました。

地域活動支援においては、施設や個人宅への傾聴ボランティア派遣や、地域交流の集い活動（愛のふれあい交流事業）の実績も増加に転じてきたため、活動に対する支援にも注力しました。

また、ホームページ上での広報誌の音声再生機能追加や、ホームページ閲覧時のセキュリティ強化、福祉センター利用環境の整備等、市民要望にも対応しました。

以下、具体的な事業の実施結果について報告します。

目 次		
基本計画 1	地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援	1
基本計画 2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり	6
基本計画 3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進	8
基本計画 4	体験学習、研修による福祉意識の醸成	11
基本計画 5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供	13
基本計画 6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり	16
★会務の運営、基本計画以外の主な活動		22

基本計画1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援

市民が福祉サービスを利用しやすくするための情報提供と生活全般にわたる困りごとや悩みごとに対応できる相談支援体制の整備に努めました。

(1) 広報活動による福祉情報の提供

①社協だより「幸せな社会」の発行

身近な地域の福祉情報を掲載した広報誌「幸せな社会」を年4回発行（発行1回につき約42,000部）し、自治会の協力を得て市内全自治会員に配布するとともに、ホームページ掲載、公共施設への配置及び関係団体などへ送付し、福祉情報を発信しました。

また、表紙など一部カラー印刷や写真を活用し、市民にわかりやすい誌面づくりに努めるとともに、拡大版を作成し公共施設などへの配置やボランティアセンター登録団体の点字ろくの会・まちの灯の協力を得て、誌面を点字・音声化し、視覚に障がいのある方へ情報提供しました。

②ホームページの運営

当協議会の運営・事業内容やタイムリーな福祉・ボランティア情報の掲載と更新、広報誌の音声再生機能の追加等、ホームページの利便性向上に努めました。

また、閲覧時のセキュリティ強化のためSSLサーバー証明書を導入しました。

③社協事業活動の説明

・当協議会事業の説明を行いました。

令和6年 5月18日（土） 江別市家庭問題研究会研修

令和6年 6月20日（木） 江別市聚楽学園（「江別学」講演）

令和6年 7月 3日（水） 大麻東町団地研修会

令和6年11月20日（水） 北翔大学（就業力特別演習）

・民生委員児童委員地区会等に歳末見舞金品贈呈事業の説明を行いました。

令和6年 9月12日（木） 野幌北地区民生委員児童委員地区会

令和6年 9月13日（金） 野幌西地区民生委員児童委員地区会

令和6年 9月18日（水） 野幌南地区民生委員児童委員地区会

令和6年 9月19日（木） 民生委員児童委員全地区会（市内地区会希望委員）

・「2024年度版社協要覧」を作成し、福祉団体・施設などへ配布し、PRに努めました。

(2) 福祉サービスの適正化、苦情対応

当協議会発行の「雪の処理情報誌」掲載企業廃業に伴う問い合わせに適切に対応しました。

(3) 生活課題に対応した総合的な相談支援

①生活困窮者自立支援事業の実施（市受託事業）

くらしサポートセンターえべつ（以下「くらサポ」）では、対象者像に合わせた就労支援と役割を創出する活動の充実に注力するとともに、関係機関への事業説明やブログでの情報発信など、事業周知活動にも努めました。

【相談支援実績】

新規相談件数 333件、支援延べ回数 3,049回、プラン作成件数 74件

【支援調整会議】

市所管課（健康福祉部管理課）担当職員、就労準備支援事業所しごとサポートセンターコクリ（以下「コクリ」）職員、くらサポ相談支援員により自立に向けたプランの確認や事業の進め方、相談内容の対応などについて協議しました。／開催回数 35回

【江別市生活困窮者自立支援ネットワーク会議】

生活困窮状態にある相談者が抱える多様で複合的な問題について、関係機関等が連携し情報共有を行うとともに、支援に必要な分野横断的なネットワークを構築するために平成28年度から継続開催しています。

今年度の会議は、くらしサポートセンターえべつからの事業報告と、それぞれの所属機関での現状や課題について情報共有を図りました。／開催回数 1回（25機関30人参加）

【就労支援】

コクリやハローワークなど就労支援機関との連携はもとより、ハローワークでの求職が困難な方々（背景に病気・障がい・社会経験の乏しさなど）への支援の充実に向けて取り組みました。

- ・就労体験先等の開拓に向けて 企業など訪問数 5ヵ所
 - ・無料職業紹介事業：求人登録数 1件、求職登録者数 0人、就労決定者数 0人
 - ・江別市版中間的就労事業の実施：雇用契約を伴わない就労の形として、市内企業3社と協定を結びプログラム化。／開催回数 35回、延べ参加人数 63人、作業料 64,883円
- ※中間的就労：一般企業などですぐに働くことが難しい方を対象に、訓練として支援付きの就労の場（軽作業など）を提供する事業。事業者との雇用契約は無いものの、参加者に一定の作業料を支払う。

【事業周知・説明】

ブログや社協だより「幸せな社会」、市広報誌での情報発信などの周知活動を実施しました。また、福祉団体などに対し事業説明を行いました。／説明箇所数 10ヵ所

【居場所「シエスタ」の開催】

市内各領域の支援機関からの協力を得ながら、ひきこもり当事者とその家族が気兼ねなく参加できる居場所づくりに取り組みました。／開催回数 6回、延べ参加人数 111人

【ボードゲーム交流会の開催】

相談者や居場所シエスタ参加者が気軽に利用できる居場所・交流の場として月1回通年で開催しました。／開催回数 12回、延べ参加人数 52人

【家計支援実績】

家計に関する助言や、滞納解消及び債務整理に関する支援、貸し付けの斡旋など、相談者自ら家計改善に取り組めるよう支援しました。／実介入件数 新規 10件、延べ 131件、プラン作成件数 35件

【住居確保給付金】

離職や休業等に伴う収入の減少により、住居を失うおそれが生じている方々への家賃相当額支給の相談窓口業務を行いました。

- ・実相談件数 31件、延相談件数 51件、支給決定件数 3件

②権利擁護の体制整備と相談支援

ア) 日常生活自立支援事業の実施（北海道社会福祉協議会受託事業）

北海道社会福祉協議会（以下「道社協」）から受託して行っている当事業を円滑に実施するため指揮監督者、自立生活支援専門員及び生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や生活費管理などに不安を抱えている方々を対象に、その支援や重要な書類の預かりなどを行い、地域で安心して生活できるようにサポートしました。

【契約件数】 31件（新規4件 前年度比2件減）

【生活支援員登録者数】 31人（新規2人 前年度比2人減）

イ) 成年後見支援センター（中核機関）の運営及び法人後見事業の実施（市受託事業など）

成年後見支援センターでは、制度の普及や利用促進に努めるとともに、被後見人等への支援や、後見制度を必要とする対象者の早期発見に向けて等、地域の関係機関や専門職団体と連携を取りながら事業を推進しました。

【相談支援実績など】

新規相談件数 155件、延べ相談件数 824件、延べ相談支援回数 654回、申立支援件数 17件、後見開始審判の市長申立要請 6件、受任調整会議 3回

【法定後見の法人後見】 22件（令和6年度受任件数 5件）

【任意後見の法人後見】 2件

【市民後見人個人受任】 3件（令和6年度受任件数 1件）

【市民後見人フォローアップ研修】

- ・第1回：令和6年6月13日（木） 参加者23人

「精神保健福祉の理解とPCAカウンセリングを用いたスリーライン支援法」

講師：自立サポートセンター0→1 成田 智弘氏（精神保健福祉士・社会福祉士・カウンセラー）

- ・第2回：令和6年12月10日（火）参加者20人

「成年後見制度の法改正と今後の展望」講師：東京大学特任専門職員 東 啓二氏

「障害者権利条約が求めているもの～意思決定支援を考える～」

講師：DPI日本会議議長補佐 崔 栄繁氏

【普及啓発】

- ・社協だより「幸せな社会」やホームページでの情報発信

・出前講座の実施：やわらぎ斎場、北翔大学実習生、北星大学実習生、明友荘実習生、地域包括支援センターとの勉強会、手をつなぐ育成会、岩見沢市社会福祉協議会 市民後見人フォローアップ研修会講師 等

- ・地域向け講演会の開催：令和6年11月16日（土）於：江別市民会館 参加者 76人

「笑って納得！成年後見笑百科」講師：不幸予防士 渋井 保之氏、司会 オダニ ハジメ氏

【関係機関との会議等】

中核機関運営会議（10回）、江別市成年後見制度利用促進協議会（3回）、地域連携ネットワーク協議会（1回）

【登録管理】

- ・市民後見人及び後見支援員の登録意向確認を実施

・年度末登録者 市民後見人候補者 32人、後見支援員 32人

③生活安定のための貸付金を活用した相談支援

生活困窮・障がい者世帯に対し、使途目的に応じた資金の貸し付けを円滑に実施するため生活資金相談員を配置し、業務の推進に努めました。

また、新型コロナウイルス特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）を利用した方々からの償還免除や償還猶予の手続き並びに関連制度の照会等、増大する相談への対応に努めました。

【相談者件数】

区 分	6 年度	5 年度	増 減
生活福祉資金	延 113 件	延 86 件	延 27 件
福 祉 金 庫	延 235 件	延 229 件	延 6 件
電 話	延 325 件	延 213 件	延 112 件
計	延 673 件	延 528 件	延 145 件

ア) 生活福祉資金の貸付（道社協受託事業）

道社協の「生活福祉資金貸付事業」の取り扱い窓口として、各種資金を貸し付けました。

【貸付実績】

※各欄上段が貸付件数・下段が貸付金額

区 分	6 年度	5 年度	増 減
福 祉 費	3 件 1,268,000 円	2 件 1,716,000 円	1 件 △ 448,000 円
教育支援資金	25 件 25,926,000 円	18 件 21,221,000 円	7 件 4,705,000 円
緊急小口資金	0 件 0 円	0 件 0 円	0 件 0 円
総合支援資金	1 件 360,000 円	0 件 0 円	1 件 360,000 円
計	20 件 27,554,000 円	20 件 22,937,000 円	9 件 4,617,000 円

イ) 特別生活資金の貸付（道社協受託事業）

道社協の「特別生活資金（冬期生活資金）貸付事業」の取り扱い窓口業務を実施しました。

【貸付実績】

区 分	6 年度	5 年度	増 減
貸付件数	1 件	1 件	0 件
貸付金額	50,000 円	50,000 円	0 円

ウ) 福祉金庫の貸付

当協議会の独自事業として、一時的に生活費が必要となった世帯に 4 万円を限度として、応急的な資金を貸し付けました。

【貸付実績】

区 分	6 年度	5 年度	増 減
貸付件数	79 件	83 件	△4 件
貸付金額	2,860,000 円	3,040,000 円	△180,000 円

④ボランティアによる日常生活上の悩みごとに関する相談支援

相談活動を主とするボランティアセンター登録3団体の協力を得て、火・金曜日の悩みごとテレホン相談及び木曜日の認知症の介護相談を実施しました。

【協力団体】

江別家庭生活カウンセラーグループ、江別市家庭問題研究会、江別認知症の人の家族を支える会

【相談件数】 55件（前年度比2件減）

⑤生活支援体制整備事業の実施（市受託事業）

生活支援や介護予防の充実を図るため、各種研修会及び住民主体で行うサロンへの参加を通じ、事業推進に必要な情報収集に努めるとともに、地域住民・団体が「支え合いのまちづくり」を進めていく上での助言や、第2層生活支援コーディネーター（地域包括支援センター）との協働、関係機関などとのネットワークづくりに努めました。

昨年度末から継続して、地域課題やこれまでの取り組みの整理を行い、令和6年度下半期と令和7年度に生活支援体制整備事業として取り組む内容を可視化した活動計画を作成しました。

また、地域課題の検討や生活支援コーディネーターの研修・学習の機会をつくることを通して、「高齢者の移動手段の確保、運転免許返納後の生活への不安」といった地域の支援ニーズを把握し、地域課題への支援を継続して行いました。

その他、総合社会福祉センターロビーへの掲示や、社協広報誌にて市内で活動している通いの場の情報を掲載（シリーズ化）することを通じ、市内における活動例の周知に注力し、通いの場に参加したいという市民や関係団体からの問合せには、該当する通いの場の情報提供や見学の連絡調整によって対応しました。

【会議への参加】

第1層・2層生活支援コーディネーター会議、第1層協議体など 23回

【研修会等への参加】

事業展開に関する情報交換研修への出席など 7回

【関係機関との情報交換・情報収集・情報提供活動】

江別市の各部署、その他関連団体との情報交換など 46回

【地域活動への参加】

地域サロン、サークル等の通いの場見学・参加など 38回

【第2層生活支援コーディネーターとの協働】

情報交換、地域課題への対応、第2層協議体への参加など 24回

【問合せ対応】

個人・団体や事業所からの問合せ対応（通いの場参加希望者への情報提供、連絡調整、貸出物品利用申込みへの対応）など 46回

【学習会・出前講話等】

主催した市民向け学習会、講話依頼を受けての訪問など 2回

【その他】

広報活動、会議録・書類作成など 27回

基本計画2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

市民がボランティア活動に積極的に参加できるよう支援し、地域福祉の担い手として活動しやすい環境づくりに努めました。

(1) ボランティアセンターの運営

①ボランティア活動の相談・登録、活動先紹介

ボランティア活動の相談受付、登録、ボランティア活動への協力依頼に対するボランティアへの情報提供及び活動希望者の調整・確保に努めました。

ア) ボランティアセンター登録団体・個人状況

区 分	登 録 状 況		増 減
	6 年度末	5 年度末	
団 体	68 団体 1,502 人	61 団体 1,394 人	7 団体 108 人
個 人	195 人	188 人	7 人
計	1,697 人	1,582 人	7 団体 115 人

イ) 社会福祉施設などへのボランティア協力

高齢者福祉施設での行事やレクリエーション支援、在宅高齢者への支援及び相談活動などに協力しました。

【ボランティア協力活動実績】

活 動 区 分	延 活 動 人 数		増 減
	6 年度	5 年度	
高齢者施設	2,242 人	1,632 人	610 人
障がい者施設・団体	17 人	30 人	△ 13 人
在宅高齢者	1,165 人	636 人	529 人
在宅障がい者	128 人	133 人	△ 5 人
託児	13 人	34 人	△ 21 人
子ども・地域食堂	139 人	283 人	△144 人
児童・学校	68 人	26 人	42 人
相談	125 人	124 人	1 人
病院	0 人	0 人	0 人
その他	184 人	363 人	△179 人
合 計	4,081 人	3,261 人	820 人

②ボランティア活動の基盤整備

安心して活動に取り組める基盤の整備に努めました。

ア) ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動中の万が一の事故に備え、加入の促進に努めました。

【取り扱い件数】 2, 5 1 7 人

(登録ボランティア 1,310 人／愛のふれあい活動 726 人／自己加入者 481 人)

イ) ボランティア団体助成金の交付

ボランティアセンター登録団体の活動を支援するため助成金の交付や各団体の民間助成金の交付申請手続きを支援しました。

【団体への活動助成金】 64団体 1, 265, 000円

【民間助成金団体】

- ・北海道地域活動振興協会ボランティア活動支援事業助成金／5団体
「江別車いすボランティア整備」「杜の台コーラス」「朗読ボランティアグループまちの灯」「あおむし人形劇団」「子ども食堂にここ広場」
- ・公益財団法人大和証券福祉財団 第31回ボランティア活動助成金／2団体
「江別子ども劇場」「語り・ひとり芝居ぐる〜ぷ うるうる亭」

③ボランティア団体連絡会の運営

登録ボランティア団体で構成される「江別市ボランティア団体連絡会」を運営し、情報交換と交流の促進及び当協議会と協働してボランティア活動を展開しました。

各団体の活動内容はホームページに掲載し市民にお知らせしました。また、ボランティア愛ランド北海道2024 in えべつへの協力要請を行いました。

【総会及び役員会】

- ・開催日 令和6年7月25日（水）
- ・場 所 総合社会福祉センター

(2) ボランティアの育成・確保

①傾聴ボランティアの育成

当協議会と江別市ボランティア団体連絡会が協働して、悩みや寂しさを抱える高齢者の話し相手をボランティア活動で行い、「聴く」ことにより心の不安を軽減することを目的に実施しました。

ア) 養成研修

- ・開催日 令和6年11月19日（火）、26日（火）、12月3日（火）
- ・場 所 総合社会福祉センター
- ・参加人数 10人

イ) ステップアップ研修（全道傾聴フォーラムへの参加）

- ・開催日 令和6年11月16日（土）
- ・場 所 道民活動センター（かでの2．7）
- ・参加人数 6人 ※内2人はオンラインで参加

ウ) 活動実績（再掲）

4施設・3個人に対し、延べ253人（前年度比143人増）が活動しました。

基本計画3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

身近な地域でのつながりや絆を深め、安心して暮らせる地域づくりの活動支援の充実に努めました。

(1) 愛のふれあい交流事業の実施

様々な機会を利用して、活動事例を収集・紹介し、自治会担当者からの個別な相談への対応を通して、当事業への取り組みを働きかけました。

①愛のふれあい活動の実施

ボランティアグループを編成し、ひとり暮らしの高齢者などへの安否確認などの助け合い活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地区	実施自治会数			対象世帯数			ボランティア延人数		
	6年度	5年度	増減	6年度	5年度	増減	6年度	5年度	増減
江別	17自治会	16自治会	1自治会	431世帯	446世帯	△15世帯	668人	625人	43人
野幌	27自治会	27自治会	0自治会	693世帯	696世帯	△3世帯	1,967人	1,101人	866人
大麻	25自治会	29自治会	△4自治会	479世帯	597世帯	△118世帯	921人	788人	133人
計	69自治会	72自治会	△3自治会	1,603世帯	1,739世帯	△136世帯	3,556人	2,514人	1,042人

②地域交流の集い活動の実施

地域の高齢者・障がいのある方の閉じこもりを予防し、身近な住民による交流を促進するための活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地 区	実施自治会数			実施事業数		
	6年度	5年度	増 減	6年度	5年度	増 減
江 別	24自治会	24自治会	0自治会	73回	65回	8回
野 幌	29自治会	26自治会	3自治会	95回	84回	11回
大 麻	31自治会	27自治会	4自治会	93回	83回	10回
計	84自治会	77自治会	7自治会	261回	232回	29回

(2) 江別市共同募金委員会との協働

江別市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動に協力するとともに、助成金の確保に努めました。

①赤い羽根共同募金運動への協力

令和6年10月1日から展開された赤い羽根共同募金運動へ協力しました。

【募金実績】 6, 125, 052円（前年度比26, 103円減）

★当協議会への共同募金助成状況

区 分	事 業 名	助 成 額		
		6年度	5年度	増 減
	広報誌「幸せな社会」発行	0円	600,000円	△600,000円
	除雪派遣サービス	155,052円	599,919円	△444,867円
道地域 助成	ボランティア団体育成	500,000円	500,000円	0円
	ワークキャンプ	110,000円	110,000円	0円
合 計		765,052円	1,809,919円	△1,044,867円

※「幸せな社会発行事業」については、歳末たすけあい募金を財源とした助成へ申請しています。

②歳末たすけあい運動への協力

令和6年12月1日から展開された歳末たすけあい募金運動へ協力しました。

また、令和6年12月、寄せられた募金を活用し、民生委員・児童委員の調査により対象となった生活支援世帯へ見舞金を贈呈しました。世帯当たりの贈呈額は昨年度と変更ありませんが、振込手数料が高額であることから、インターネットでの事務処理に変更し、手数料の削減に努めました。

【募金実績】 3, 780, 020円（前年度比417, 933円減）

【歳末たすけあい募金助成】

★見舞金の贈呈状況

区 分	6年度		5年度		増 減	
	世帯数	見舞金額	世帯数	見舞金額	世帯数	見舞金額
生活支援 世帯	634世帯	1,971,255円	625世帯	2,114,160円	9世帯	△142,905円

★福祉事業への助成状況

助成先	6年度		5年度		増 減	
	団体数	助成金額	団体数	助成金額	団体数	助成金額
障がい児・者団体及びその家族会	2団体	49,000円	3団体	210,000円	△1団体	△161,000円
地域福祉推進団体	0団体	0円	0団体	0円	0団体	0円
計	2団体	49,000円	3団体	210,000円	1団体	△161,000円

★当協議会への歳末たすけあい募金助成状況

なし

※歳末たすけあい募金を財源とした助成へ「愛のふれあい交流事業」「幸せな社会発行事業」「除雪派遣サービス事業」を申請しています。

(3) 江別ふれあい福祉の広場の開催

障がい者団体、福祉団体及びボランティア団体などの参画により開催し、多くの市民が集いました。

【開催内容】

- ・開催日 令和6年7月21日（日）
- ・開催場所 総合社会福祉センター
- ・来場者数 約1,800人
- ・内 容 社会福祉功労者顕彰並びに赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金助成金交付式、ふれあいバザー、ふれあいビアガーデン、体験型福祉機器展示、点字・要約筆記体験、モルック体験、よさこい演舞 など

(4) 企業・団体の地域貢献活動への支援

自治会、施設・団体、企業が行う社会貢献活動や地域行事などへの協力要請に対し、活動先の紹介、連絡調整及び活動備品の貸し出しなどの支援に努めました。

【活動備品の貸出】

- ・テント 5施設 14団体
- ・机 7施設 17団体
- ・椅子 7施設 10団体

【社会貢献活動への協力】

- ・江別ロータリークラブ、札幌地方自動車整備江別地区協議会【車いす点検・整備】
- ・江別ロータリークラブ【車いす寄贈】
- ・角山開発株式会社【緊急支援用食料寄贈】
- ・北海道コカ・コーラリテール&ベンディング株式会社【福祉施設への清涼飲料水寄贈】
- ・後藤建設㈱カーブス事業部（カーブス野幌店、大麻駅前店）【緊急支援用食料寄贈】
- ・江別グリーンライオンズクラブ【緊急支援用お米券寄贈】

基本計画4 体験学習、研修による福祉意識の醸成

福祉施設などと協働し、青少年はじめ市民に体験の場や研修の機会を提供し、福祉意識の醸成に努めました。

(1) 地域福祉活動者研修会の開催

自治会役員などを対象に、地域福祉活動に関する疑問や悩みへの情報提供、地域交流活動に活かせる取り組み事例の共有を行い、「愛のふれあい交流事業」などに役立てていただくことを目的に研修を開催しました。

【開催内容】

- ・開催日 令和7年2月26日（水）
- ・場 所 総合社会福祉センター
- ・内 容 地域福祉活動と多世代交流
 - ・講話「地域交流拠点ココルクえべつにおけるイベント等の企画や連携」
講師 社会福祉法人 日本介護事業団「ココルクえべつ」
コーディネーター 明石勝則氏、高橋有紀氏
 - ・地域交流の取り組みアイデア紹介（社協担当者より）
 - ・グループ交流
- ・参加者数 40名（27自治会）

(2) 福祉施設での体験学習

ワークキャンプ（福祉施設介護体験学習）の開催

高校生を対象に、福祉施設の協力を得て、実際に福祉の現場を見て、知って、感じるキャリアビジョンを広げる機会として開催しました。

【開催内容】

開 催 期 間	参加者数	場 所
令和6年8月 7日（水）	3人	盲人養護老人ホーム 恵明園
	5人	特別養護老人ホーム 静苑ホーム
	4人	老人保健施設 友愛ナーシングホーム
令和7年1月 9日（木）	中止	盲人養護老人ホーム 恵明園
	3人	特別養護老人ホーム 静苑ホーム
	3人	老人保健施設 友愛ナーシングホーム
計	18人	

(3) 総合的な学習の時間や学校・大学の福祉活動への協力

体験用具や車いすの貸し出しなど、総合学習へ協力しました。また、大学の講義にて地域福祉やボランティアについて講話しました。

【総合的な学習】

- ・車椅子講話・体験 小学校 7 校
- ・疑似体験セット貸出 小学校 6 校 5 団体
- ・アイマスク貸出 小学校 2 校 2 団体

【地域講話】

- ・ソーシャルワーク演習 大学 1 校（2 回）
- ・就業力特別演習 大学 1 校

(4) いきいきシニアスクールの開催

シルバーウィーク行事の一環として、住み慣れた地域で安心・安全な生活を送る一助となることを目的に、江別市高齢者クラブ連合会との共催により開催しました。

【開催内容】

- ・開催日 令和 6 年 9 月 1 8 日（水）
- ・場 所 総合社会福祉センター
- ・内 容 「防災・減災のはなし」等
- ・講 師 江別市総務部危機対策・防災担当
- ・参加人数 5 4 人

基本計画5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供

住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるように、各種の福祉サービスの提供に努めました。

(1) 雪処理への支援

①福祉除雪サービスの実施（市受託事業）

高齢・重度の身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に公道（車道）除雪後に残る「置き雪」の処理をロータリー車、ショベルカーを使用し実施しました。

【実施期間】 令和6年11月1日～令和7年3月31日

【利用料金】 1間口3m以内（追加料金は1間口15,400円）

種 別	市からの助成金	利用者自己負担額	合 計
市・道民税非課税世帯	29,480 円	16,720 円	基本料金 46,200 円
同均等割課税世帯	23,320 円	22,880 円	
同均等割・所得割課税世帯	17,160 円	29,040 円	

【実施状況】

地 区	6 年度		5 年度		増 減 (A) - (B)
	利用世帯数 (A)	(A) の内、 新 規	利用世帯数 (B)	(B) の内、 新 規	
江 別	302世帯	48世帯	300世帯	46世帯	2世帯
野 幌	417世帯	49世帯	410世帯	53世帯	7世帯
大 麻	234世帯	25世帯	241世帯	36世帯	△ 7世帯
計	953世帯	122世帯	951世帯	135世帯	2世帯

②除雪派遣サービスの実施

高齢・重度身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に作業協力員により玄関先から公道までの除雪を実施しました。

作業協力員確保のため、江別市シルバー人材センターのほか、札幌勤労者企業組合、障がい者就労移行支援事業所との契約に加えて、独自に作業協力員の確保を行い、サービスを提供しました。

また、昨年度、モデルケースとして実施した企業との協働モデルを推進し、2社目の協力企業を確保しました。

一方、作業員が対応可能な地区に隔たりがあり、要件を満たしているものの6世帯が利用に至りませんでした。

【実施状況】

地 区	利用世帯数		
	6 年度	5 年度	増 減
江 別	65世帯	58世帯	7世帯
野 幌	57世帯	58世帯	△1世帯
大 麻	53世帯	59世帯	△6世帯
計	175世帯	175世帯	0世帯

③「えべつ雪の処理情報誌」の作成

市民の様々な除排雪の要望に対応するため、除排雪作業・料金などの内容を事業者別に記載した情報誌を発行するとともに、公共施設などに配置しました。また、雪処理を行う事業者一覧を社協により「幸せな社会」とホームページに掲載しました。

【掲載事業者数】 30事業者掲載（前年度同数）

（２）高齢者・障がい者給食サービスの実施（市受託事業）

疾病・障がいにより食事の支度が困難な高齢ひとり暮らし世帯・夫婦世帯などに夕食を届けました。また、配達時に安否確認を行い、利用者の緊急時の対応を行いました。

【配食実績】

地区	利用数	高齢者世帯 (ひとり世帯)			高齢者世帯 (夫婦等世帯)			障がい者世帯 (ひとり世帯)			高齢者＋ 障がい者世帯			合 計		
		6年度	5年度	増減	6年度	5年度	増減	6年度	5年度	増減	6年度	5年度	増減	6年度	5年度	増減
江別	世帯数	40	50	△10	5	4	1	1	1	0	0	0	0	46	55	△9
	食 数	40	50	△10	10	8	2	1	1	0	0	0	0	51	59	△8
野幌	世帯数	31	36	△5	4	9	△5	2	2	0	0	0	0	37	47	△10
	食 数	31	36	△5	8	18	△10	2	2	0	0	0	0	41	56	△15
大麻	世帯数	34	34	0	4	2	2	2	3	△1	0	0	0	40	39	1
	食 数	34	34	0	8	4	4	2	3	△1	0	0	0	44	41	3
合計	世帯数	105	120	△15	13	15	△2	5	6	△1	0	0	0	123	141	△18
	食 数	105	120	△15	26	30	△4	5	6	△1	0	0	0	136	156	△20

【年間配食実績】 38, 661食（前年度比7, 256食減） ※R5 45, 917食

（３）障がい児者移動支援事業の実施

江別市が福祉サービスの利用を決定した身体・知的障がい児者の社会生活上、必要な外出・余暇活動・社会参加などの介助のために、ガイドヘルパーを派遣しました。

【実施状況】 ガイドヘルパー数 15人 ガイドヘルプ利用者数 23人

【利用実績】

利 用 内 容	件 数		
	6年度	5年度	増 減
健康・体力づくりや余暇活動などのための外出	106件	81件	25件
医療機関への相談又は受診	73件	64件	9件
一般市民向けの各種行事への参加	12件	9件	3件
福祉活動を目的とした団体行事などへの出席	91件	100件	△9件
その他の外出	123件	230件	△107件
計	405件	484件	△79件

(4) 福祉機器の貸与

①福祉機器の貸与

疾病・障がいがある方の日常生活を支援するため、福祉機器を貸与しました。

【貸与状況】

福祉機器	保有台数	貸与件数（延貸与月数）		
		6年度	5年度	増 減
車椅子	141 台	1,020 件	1,098 件	△78 件
介護用手動ベッド	8 台	49 件	72 件	△23 件
介護用電動ベッド	51 台	458 件	496 件	△38 件
歩行器	29 台	141 件	171 件	△30 件
計		1,668 件	1,837 件	△169 件

②福祉ベルの設置

江別市緊急通報システム設置待機者を対象に、身体急変時の緊急連絡用として福祉ベルを設置しています。

【設置状況】

区 分	江別地区	野幌地区	大麻地区	合 計
5年度までの設置数	5 件	4 件	3 件	12 件
6年度設置数	1 件	0 件	0 件	1 件
6年度返却数	2 件	0 件	1 件	3 件
計	4 件	4 件	2 件	10 件

(5) 北光保育園の運営

農村地域の児童の健全育成と子育て支援の一環として開設している北光保育園を運営しました。

【保育児童数】

区分 保育所名	6年度年齢別保育児童数					5年度	増 減
	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計		
児童数	6 人	4 人	4 人	3 人	17 人	21 人	△4 人

基本計画6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり

地域福祉推進の中核的な役割を発揮できる組織づくり、市民から信頼される運営体制の確立に努めました。

(1) 組織体制の整備

当協議会の運営、事業への市民・福祉団体の参加の促進や行政との連携に努めました。

①行政との連携

特に、下記内容について、市と連携・協議のうえ、実施しました。

- ・くらサポ相談支援員が、事業の進め方や相談内容等について支援調整会議を毎週開催し協議。
- ・江別市成年後見支援センターの運営状況、受任調整会議の開催内容、市長申立案件について協議。
- ・生活支援コーディネーター業務の進め方及び生活支援体制整備事業の実施や周知方法について協議。
- ・総合社会福祉センター改修箇所にかかる修繕費について協議。
- ・令和7年新年交礼会協賛。
- ・給食サービス事業者との業務委託料及び利用料の見直し

②部会・委員会組織の活性化

部会・委員会を開催し、当協議会の運営に市民・福祉団体の意見・考え方を積極的に反映しました。

【部会・委員会開催状況】

会 議 名	開催回数	開 催 年 月 日
合同（総務・地域福祉）部会	2回	令和6年 8月27日（火） 令和7年 1月23日（木）
広報編集委員会	4回	令和6年 6月 6日（木） 令和6年 9月 5日（木） 令和6年12月 5日（木） 令和7年 3月 6日（木）
福祉金庫管理委員会	1回	令和6年 5月31日（金）
江別市成年後見支援センター 受任調整会議	3回	令和6年 8月 5日（月） 令和6年10月16日（水） 令和7年 2月 4日（火）

③役職員などの研修・資質向上

ア) 職員の資質向上

道社協主催研修会などに職員を派遣またはオンライン参加し、資質向上に努めました。

【主な派遣研修会】

研 修 会	開 催 日	場 所	人数
令和6年度生活困窮者自立支援制度初任者研修	令和6年6月6日～7日	札幌市	1人
第174回市町村職員を対象とするセミナー	令和6年 6月28日	オンライン	1人
北海道生活困窮者支援ネットワーク（どうねっと）シンポジウム	令和6年 7月 1日	札幌市	2人

令和6年度第1回北海道福祉教育・ボランティア学習セミナー	令和6年 7月13日	オンライン	1人
成年後見制度事業担当者研修	令和6年 7月25日	オンライン	1人
令和6年度相談援助職員専門研修	令和6年 8月 6日	札幌市	1人
どうねっと情報交換会「居住支援について」	令和6年 8月23日	オンライン	2人
令和6年度第1回生活困窮者自立支援全国ネットワーク家計改善支援部会	令和6年 8月31日	オンライン	1人
第1回持続可能な権利擁護支援モデル事業	令和6年 9月20日	オンライン	1人
社会福祉士実習指導者研修	令和6年10月5日、6日、20日	オンライン	1人
どうねっと情報交換会「日常生活自立支援事業について」	令和6年10月22日	オンライン	2人
第7回首都圏若者サポートネットワークシンポジウム	令和6年10月27日	オンライン	1人
「これからの居住支援について」研修会	令和6年10月29日	札幌市	1人
第3回「ひきこもりの老いを考えよう」研修会	令和6年11月 2日	札幌市	1人
令和6年度社協職員先進地地域福祉活動研修	令和6年11月6日～8日	富山県、石川県	1人
社会福祉士会道央支部困窮者支援セミナー	令和6年11月 9日	札幌市	1人
第11回生活困窮者自立支援全国研究交流大会	令和6年11月9日～10日	愛知県	1人
令和6年度日常生活自立支援事業指導監督者・専門員研修	令和6年11月12日	札幌市	1人
福祉避難所研修会	令和6年11月18日	江別市	2人
石狩管内生活支援コーディネーター情報交換会	令和6年11月27日	札幌市	1人
「ちょこっと仕事」情報交換会	令和6年11月29日	北広島市	1人
令和6年度石狩管内社協職員連絡協議会第1回研修会	令和6年12月 4日	札幌市	3人
こども・若者の未来づくり会議 in EBETSU	令和6年12月 7日	江別市	1人
第1回持続可能な権利擁護支援モデル事業	令和7年 1月17日	オンライン	1人
令和6年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修	令和7年1月27日～28日	札幌市	1人
どうねっと情報交換会「就労支援について」	令和7年 2月14日	オンライン	1人
令和6年度石狩地区地域に理解され支持される社協づくり研修／札幌地区・石狩管内社協職員連絡協議会第2回研修会	令和7年 2月21日	札幌市	2人
北海道生活困窮者支援ネットワーク（どうねっと）シンポジウム in 旭川	令和7年 2月26日	旭川市	1人
経理担当者に必要な税務基礎知識	令和7年 2月27日	東京都	1人
旭川成年後見支援センター普及啓発講演会	令和7年 3月 4日	旭川市	1人
「家計管理アプリと学習教材を全国に普及し、早期支援を実現する事業」全体報告会	令和7年 3月14日	オンライン	1人
令和6年度第2回生活福祉資金貸付事業オンライン説明会	令和7年 3月19日	オンライン	2人

(2) 財源基盤の整備

当協議会の運営や福祉活動を推進するため財源基盤の整備に努めました。

①会員会費制度の定着・促進

住民・福祉団体などとの協働を進めるうえで基本的な財源となる会員会費制度の定着・促進に努めました。

また、第2種会員（施設会費）のうち、小規模な事業所を第3種会員に変更し、会員会費の負担軽減を図るなど、会費の増強につながる見直しを実施しました。

【会員会費状況】

区 分	件 数			備 考
	6 年度	5 年度	増 減	
第1種会員会費 （世帯会費）	37,317 世帯	37,809 世帯	△492 世帯	1 世帯 年額 300 円
第2種会員会費 （施設会費）	27 施設	34 施設	△7 施設	50 人未満 5,000 円 50 人以上 7,000 円 100 人以上200 人未満 10,000 円
第3種会員会費 （団体会費）	112 団体	94 団体	18 団体	1 団体 3,000 円 ※ボランティア団体 は人数による
第4種会員会費 （特別会費）	705 個人・事業所	676 個人・事業所	29 個人・事業所	1 口 1,000 円以上

②社会福祉基金の積立・運用

寄付金を安全確実な方法で運用しました。

特に、安全性や利回り等を検討し、保有債券の売却と、より好条件な債権の購入等、事業財源の確保に努めました。

【元金積立及び運用内訳】

	金 額	備 考
① 5 年度末残高	132,248,943 円	左記内訳（6 年度末） ・ 社債① 98,237,000 円 ・ 社債② 10,000,000 円 ・ 定期預金 10,000,000 円 ・ 普通預金 11,110,636 円 合 計 129,347,636 円
② 5 年度事業に充当した額からの 戻入額	1,692,000 円	
③ 6 年度の寄付金額 ※寄付件数 66 件	1,216,730 円 内訳 ・ 篤志寄付金 1,156,311 円 ・ つもり寄付金 60,419 円	
④ 普通預金利息	341 円	
⑤ 経過利息	819,378 円	
⑥ 6 年度事業への充当額	4,991,000 円	
6 年度末残高（①～④）－⑤－⑥	129,347,636 円	

【利息（普通預金）】

	金 額	備 考
① 5 年度末残高	1, 732, 097 円	
② 5 年度事業に充当した額からの戻入額	1, 905, 305 円	
③ 6 年度内公共債・公社債利息	1, 794, 049 円	・ 公共債利息 1, 662, 000 円 ・ 公共債経過利息 132, 049 円
④ 公共債売却益	3, 173, 000 円	
⑤ 6 年度内定期預金利息	571 円	
⑥ 6 年度内普通預金利息	4, 231 円	
⑦ 6 年度事業への充当額	1, 730, 000 円	
6 年度末残高（①～⑥）－⑦	6, 879, 253 円	

③共同募金からの助成金の確保（P. 9 参照）

④一般寄付金の活用

直接、当該年度事業に充当できる制度として寄付金を活用し、指定寄付の一般財団法人北海道信用金庫ひまわり財団からの 10 万円の寄付金は、ボランティア活動の推進に、江別市高齢者クラブ連合会（女性部）からの 10 万円の寄付金は、車いすの購入に活用しました。

【寄付取扱実績】 件数 21 件、寄付金額 545, 243 円

⑤各種事業コストの検討

給食サービス利用料改定を実施いたしました。

（3）事務事業の改善

【主な改善事項】※再掲

- ・ 広報誌の音声再生機能の追加
- ・ ホームページ閲覧時のセキュリティー強化（SSL サーバー証明書導入）
- ・ 第 2 種会員と第 3 種会員の区分見直し
- ・ 社会福祉基金の運用見直し

(4) 総合社会福祉センターの管理運営

①福祉団体等が利用する地域福祉活動の拠点施設、並びに高齢者等が集う交流の場として運営しました。

【月別利用状況】

月	利 用 者 数			月	利 用 者 数		
	6 年度	5 年度	増 減		6 年度	5 年度	増 減
4	3,185 人	3,136 人	49 人	10	3,335 人	3,083 人	252 人
5	2,996 人	2,948 人	48 人	11	3,044 人	3,394 人	△ 350 人
6	3,268 人	3,361 人	△ 93 人	12	2,790 人	2,947 人	△ 157 人
7	3,089 人	2,641 人	448 人	1	2,427 人	2,187 人	240 人
8	2,436 人	2,777 人	△ 341 人	2	2,719 人	2,616 人	103 人
9	3,371 人	3,372 人	△ 1 人	3	3,222 人	2,997 人	225 人
計					35,882 人	35,459 人	423 人
累 計 (昭和 57 年度～令和 6 年度)					2,412,592 人		

②センター利用者から要望が多かった、電波環境の改善と猛暑対策について下記の工事を実施し、利用環境の改善に努めました。

- ・無線 LAN アクセスポイントの増設工事
- ・研修室及び大広間のエアコン設置工事

(5) 防災・災害対策の推進

・令和 6 年 8 月 3 日（土）開催の「江別市総合防災訓練」に職員が参加し、災害ボランティアセンター活動事例の啓発展示を行いました。

・令和 6 年 9 月 30 日（月）と令和 7 年 3 月 31 日（月）に、総合社会福祉センター職員による火災を想定した消防訓練を実施しました。

(6) 江別市避難行動要支援者個別避難計画の作成支援（市受託事業）

災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障がい者等の避難行動要支援者の個別避難計画について作成支援しました。

業 務 内 容	件 数
個別避難計画作成に関する一式の発送業務	12 件
個別避難計画作成業務	48 件

(7) 地域福祉実践計画の進行管理

合同（総務・地域福祉）部会において、計画の執行状況について管理し、円滑な推進を目指すため、6基本計画・48個別実践事業について令和5年度事業評価を実施しました。

基本6計画は全て「予定通り推進された」とし、5点満点中3点の評価となりました。また、個別事業では、評価対象48事業すべて3点以上となり、内6事業が4点の評価となりました。

令和5年度は、コロナ禍による活動休止や縮小を経て、地域活動の再構築を進めた年となりました。また、コロナ禍を通じて、社協が実践する地域福祉事業やセーフティーネット機能の重要性が改めて認識され、今後も地域福祉のさらなる推進への期待が寄せられました。

【令和5年度基本計画評価結果】

分 類	基本計画の主な内容と評価結果				
基本計画1	地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援				
	5	4	3	2	1
	[生活困窮者自立支援事業など12事業]				
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり				
	5	4	3	2	1
	[ボランティア活動の基盤整備など5事業]				
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進				
	5	4	3	2	1
	[愛のふれあい活動など5事業]				
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成				
	5	4	3	2	1
	[ワークキャンプの開催など5事業]				
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供				
	5	4	3	2	1
	[給食サービス事業など7事業]				
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり				
	5	4	3	2	1
	[社会福祉基金の積立・運用など15事業]				

(8) 第5期地域福祉実践計画の策定

自治会、当事者団体、福祉団体、ボランティア関係者で構成する「地域福祉実践計画策定部会」において、第5期江別市地域福祉計画の具体的内容やアンケート調査結果などを踏まえて策定に取り組みました。

【計画策定経過】

開 催 日	主 な 内 容
令和6年8月27日 第1回合同（総務・地域福祉）部会	・ 計画概要、計画策定方法及び策定スケジュール ・ 策定部会委員の選出
令和6年9月26日 第1回地域福祉実践計画策定部会	・ 正副部会長の選出 ・ 社協会長から計画策定に関する諮問 ・ アンケート調査の結果報告
令和6年12月10日 第2回地域福祉実践計画策定部会	・ 計画内容の協議
令和7年1月23日 第2回合同（総務・地域福祉）部会	・ 第4期計画の中間評価 ・ 第5期計画への意見等協議
令和7年1月23日 第3回地域福祉実践計画策定部会	・ 計画内容の協議
令和7年2月20日 第4回地域福祉実践計画策定部会	・ 計画内容の協議（成案の最終整理）
令和7年3月3日	・ 正副部会長から社協会長へ計画（案）の答申

★会務の運営、基本計画以外の主な活動

(1) 会務の運営

①三役会（会長・副会長・常務理事会議） 12回

開催日		
令和6年 4月15日（月）	令和6年 5月28日（火）	令和6年 6月20日（木）
令和6年 7月12日（金）	令和6年 8月 8日（木）	令和6年 9月12日（木）
令和6年10月16日（水）	令和6年11月14日（木）	令和6年12月 5日（木）
令和7年 1月16日（木）	令和7年 2月 7日（金）	令和7年 3月 7日（金）

②理事会 4回

開催日		
令和6年 6月11日（火）	令和6年10月 9日（水）	令和6年12月19日（木）
令和7年 3月12日（水）		

③評議員会 3回

開催日		
令和6年 6月26日（水）	令和6年10月22日（火）	令和7年 3月26日（水）

④ 監事監査 4回

開催日		
令和6年 5月24日（金）	令和6年 8月30日（金）	令和6年12月 6日（金）
令和7年 3月 5日（水）		

⑤ 評議員選任・解任委員会 3回

開催日		
令和6年 6月12日（水）	令和6年10月10日（木）	令和7年 1月28日（火）

(2) 社会福祉功労者顕彰

社会福祉功労者を顕彰し、感謝の意を表しました。

【被顕彰者】

- ・団体推薦 表彰 38人
- 感謝 3人
- ・寄付（寄贈） 表彰 1団体

(3) 研修事業・講習会などへの参加

①石狩地区ボランティアネットワーク協議会

【開催内容】

- ・開催日 令和6年10月7日（月）
- ・場 所 かでる2・7
- ・参加者 1人
- ・内 容 ボラネットスキルアップ事業について、ボランティア愛ランド in 北海道の再開について 等

②令和6年度災害ボランティア組織連携会議

【開催内容】

- ・開催日 令和6年9月11日（水）
- ・場 所 かでる2・7
- ・参加者 1人
- ・内 容 災害ボランティアセンターの設置・運営に関する体制整備について、被災者支援における官民連携の必要性について 等

③安全運転管理者等講習

【開催内容】

- ・開催日 令和6年6月14日（金）
- ・場 所 江別市民会館
- ・参加者 1人

(4) 障がい児者団体等の作品展示・販売

障がい児者への理解を図ることを目的に、就労系の5事業所の作品を総合社会福祉センターロビーに設置している「福祉の店」で展示・販売しました。

【販売商品】 ぼかし、固形石鹸、手芸品など

(5) 福祉団体・ボランティア団体PRスライドショーの実施

ふれあい福祉の広場開催に併せ、スライドショーにより参画団体のPRを実施しました。

(6) 社協だより「幸せな社会」への広告掲載

広告料による自主財源の確保に努めました。

【広告掲載実績】 掲載事業者数 7社 広告料 95,000円